

原子炉隔離時冷却系の蒸気供給隔離弁修繕及び原子炉の再起動について

志賀原子力発電所 2 号機では、試運転中の平成 1 8 年 1 月 2 6 日に当該隔離弁の不動作について報告があり、原子炉を停止していた。

この件に関し、原因として、弁を駆動するモーターの電気回路に使用されている電磁接触器といわれるスイッチ部に不具合があったものであり、当該電磁接触器の交換の他、再発防止対策として、不具合発生の原因と推定される清掃時のバネずれについて、再発しないよう清掃後きちんと確認を行うこととされた。

この原因と対策については、

①原子力安全・保安院へも報告され、妥当とされたこと。

②県及び志賀町が本日午後に実施した立入調査により、電磁接触器が交換されていることを確認したこと。

等から対応がなされたものとする。

このような状況を受け、本日午後 5 時に北陸電力(株)から再起動に関する申し入れがあった。

県では、機器の交換だけでなく、人的なミスの防止や点検項目の充実等、再発防止対策の実施と、全社的な安全意識の向上を指示して了解とした。

参考北陸電力 H P) <http://www.rikuden.co.jp/press/attach/06020801.pdf>

平成 1 8 年 2 月 8 日 原子力安全対策室 (直通) 0 7 6 (2 2 5) 1 4 6 5 (県庁内線) 4 2 3 4
--